

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費  
2項 工鉱業費  
2目 中小企業振興費

産業振興総室 (内線: 7663)  
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起 債	そ の 他	一般財源	
【経済成長戦略】 とっとりバイオフィロンティア立上支援事業	38,102	0	38,102				38,102	
トータルコスト	45,363千円 (前年度0千円) [正職員: 0.9人]							
主な業務内容	補助金交付決定手続き、入居促進に向けた勧誘活動							
工程表の政策目標(指標)	染色体工学技術等を活用したバイオ関連産業の創出等 (研究開発成果を活用した事業化件数1件/年)							
<p>説明</p> <p><b>1 事業の概要</b> とっとりバイオフィロンティアの開所に向け、入居が期待される企業に対してPRを行うとともに、核となる鳥取大学で独自に開発されたヒト染色体マウスを試験的に使用できる場を設け、バイオフィロンティア開所後の入居につなげる。(21年度9月補正新規事業)</p> <p><b>2 事業内容</b></p> <p>(1) 開発マウス評価支援(13,967千円)</p> <p>①共同研究支援補助(7,300千円) ・バイオフィロンティアへの入居を検討する企業が、開所前に鳥取大学内の飼育施設を賃借して共同研究等を行う場合の経費を助成 ⇒《補助対象者》マウス使用企業 《補助率》10/10</p> <p>②コンソーシアム支援補助(6,667千円) ・製薬企業等により構成され新たに立ち上げられるコンソーシアムにおいて、参画企業が試用する実証試験用マウスに係る繁殖経費を助成 ※コンソーシアム: 広く製薬企業等の参加を募り、マウス実用化へのデータ蓄積を共有化して、バイオフィロンティアへの参画を促す取り組み ⇒《補助対象者》マウス評価コンソーシアム事務局(代表者:調整中)《補助率》2/3</p> <p>(2)「バイオフィロンティア準備室」運営費補助</p> <p>①準備室統括職員の配置((財)鳥取県産業振興機構への職員派遣)(10,513千円) ・とっとりバイオフィロンティアの整備が本格化することから、現地(鳥取大学米子キャンパス内)にバイオフィロンティア準備室((財)鳥取県産業振興機構)を設置し、統括する職員を配置 (開所後のバイオフィロンティアの管理運営を予定する(財)産業振興機構に派遣) ⇒鳥取大学等の関係機関との調整、新たに配置されるバイオマネージャー等と一体となった事業促進及び人員管理など ⇒《補助対象者》財団法人鳥取県産業振興機構 《補助率》10/10</p> <p>②バイオマネージャーの配置(11,328千円) ・バイオ関連専門技術及び事業化に関する知見を有する専任者を配置 ⇒製薬・動物生産企業や機能性食品企業の訪問等を行い、バイオフィロンティアへの入居促進、研究内容と関係企業とのマッチング等を実施。 ⇒《補助対象者》財団法人鳥取県産業振興機構 《補助率》10/10</p> <p>③バイオフィロンティア入居勧誘のための企業訪問(1,766千円) ・バイオフィロンティア及びヒト染色体マウスをPRし、マウスの試験的利用やバイオフィロンティアへの入居を勧誘 ⇒《訪問回数》12回程度 《訪問者》バイオマネージャー、大学関係者 等 《訪問先》製薬企業、食品関連企業 等</p> <p>④標準事務費(528千円)</p> <p><b>3 これまでの取組状況、改善点</b> 平成21年度は、企業を含む産学官の関係機関により、バイオフィロンティアでの協力・連携等を確認する覚書を締結(H21.5)。また、バイオフィロンティア内の研究設備等の整備財源として国の地域産学官共同研究拠点整備事業が採択(H21.12採択額9億円)されるとともに、施設建設の設計予算を計上して設計業務に着手し、ハード整備に目処がついたところ。 今後は、バイオフィロンティアへの入居企業の確保など、バイオ産業の創出に向けたソフト面での事業を推進していく。</p>								